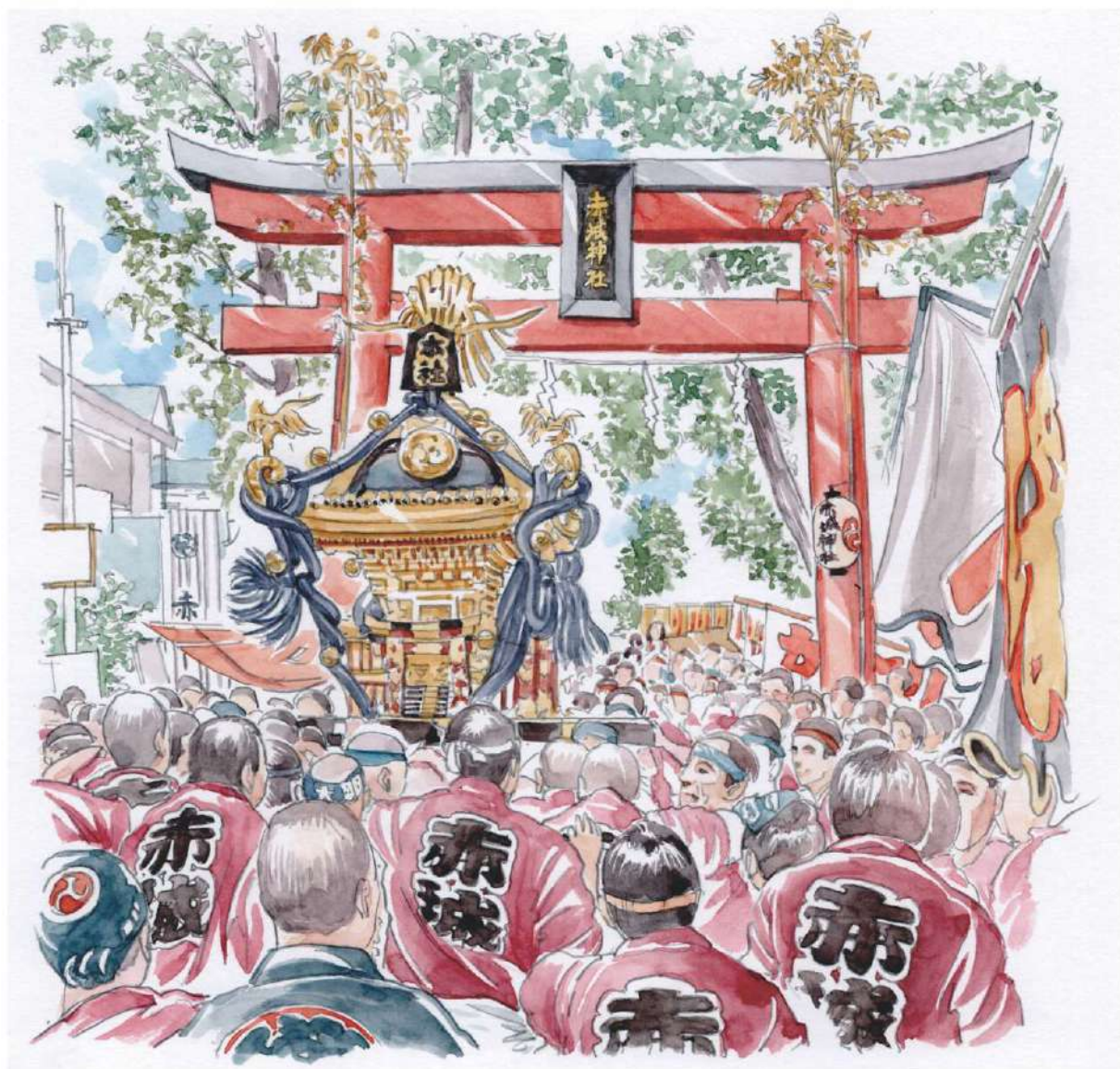


地域と税の情報誌

よらや

No.209 秋
2025

【特集】 四谷税務署 新署長に聞く



【特集】 四谷税務署 新署長に聞く

四谷税務署長
種草 省夫氏
オンとオフを意識して
メリハリをつけ
一日決算主義で。

● 聞き手
公益社団法人 四谷法人会
広報委員長 茂原 光一
広報副委員長 木佐木 俊介



種草署長

委員長 これまでの仕事で印象に残るものについて
署長 税務勤務は、令和4事務年度大阪府の増税事務署長以来、3年ぶりです。国税職員としては国際関係の仕事が長く、相互協議以外にも2年間のワシントン長期出張、OECDでの国際課税ルール作りへの参画、租税回避等に対応すべく国際的な情報交換の整備・事務運営指針の作成など様々なタイプの国際関係の仕事を担当しましたが、最も長い経験を話す（相互協議となり）前任の高岡署長と丸組みになります。担当した仕事の中でちょっとユニークな仕事のことを話すと、昨事務年度担当した国際支援の仕事があります。税務職員でもあまりなじみがない者が多いと思いますが、国税庁では政府開発援助（ODA）の技術協力枠組みの下、JICA等と連携協働して、アジア諸国を中心として、開発途上国の税務職員に対して、開発途上国の税務行政の改革、日本の税務行政に対する理解者の育成などを目的に、開発途上国に対する技術協力に積極的に取り組んでいます。具体的には、相手国のニーズを踏まえた日本の税務行政や国際課税ルールについての研修を企画・立案・実施しています。昨年は国際支援署長として企画立案業務が中心でしたが、10年ほど前には国際支援担当教官として相互協議、事前確認な

◆ 開発途上国の税務職員の研修を実施

目標は四谷管内8町を制覇（？）することです。
また、国際関係の仕事に進むきっかけとなったのは、国際租税セミナー「一般コース及び特別コース」という研修（計9か月）の選抜試験に合格し受講したことです。その研修の実施場所が、和光に移転する前の今はなき税務大学校若松校舎でした。お台場に移転する前のフジテレビ（河田町）のすぐそばにありました。若松校舎の寮に住んでいましたので、私が初めて東京で暮らした場所であり、そんな四谷にまた戻ってくることで、つくづく縁を感じています。大通りから一歩中に入ると、路地と坂が多く、静謐な雰囲気があるのは、以前と変わらないと感じています。

◆ 四谷とは少なからず縁がありました

7月に着任された四谷税務署種草署長に四谷法人会茂原広報委員長と木佐木広報副委員長がお話を伺いました。
委員長 署長は、前任の高岡署長と同じ部署にいらしたことがあるそうですね。
署長 前任の高岡署長とはともに国際関係の経験が長く、過去2回引継ぎを受けていたので、まさか3度目の引継ぎを受けることになる、と驚きました。それと同時に、お互い最も長い経験が「国税庁での相互協議」という、日本の親会社と外国子会社間で生じた国際的な二重課税を解消すべく外国の税務当局と協議する仕事だったので、話のネタがぶるなと思いました（笑）。
委員長 四谷の街の印象はいかがですか？
署長 四谷は若い頃4年ほど住んでいたことがあり、歴史と伝統のある四谷にまた戻ってくることで、光栄が身に引き締まる思いと同時にとてもなつかしく、週末は時間があると管内を散策しています。

よや 秋

もくじ よつや 第209号

■【特集】 四谷税務署新署長に聞く オンとオフを意識してメリハリをつけ 一日決算主義で……………	2
四谷税務署 幹部職員のご紹介……………	6
四谷税務署若手幹部職員……………	7
■ 税務のポイント 四谷税務署からのお知らせ……………	8
新宿都税事務所からのお知らせ……………	10
■ 四谷法人会会員のひろば 四谷法人会からのお知らせ……………	11
新入会員名簿●6月～8月……………	11
営業訪問 第107回●市部典贈（株）……………	12
四谷法人会に加入しませんか……………	14
四谷法人会トピックス……………	16
事業活動報告……………	18
「地球温暖化対策報告書」に取り組み、光熱費削減を！……………	18
■ 地域の話題・くらしの知識 よつや健康お助け隊●受けていますか？がん検診……………	19
よつや健康お助け隊●受けていますか？がん検診……………	19
法律問答あれやこれや……………	20
第45回●株主代理人による株主総会での 議決権行使……………	20
面白発明にチャレンジしよう……………	21
第96回●「びーずスルー」と「コードストッパー」……………	21
四谷・牛込あの日、あそこで……………	22
第6回●甲武鉄道の開通……………	22

表紙 赤城神社例大祭
わせた新宿百景 No.42
牛込の総鎮守、赤城神社の例大祭は9月19
日から21日に行われます。



【特集】四谷税務署 新署長に聞く



副署長 若い頃は海外旅行が好きでしたが、年齢とともに温泉など国内の旅行にシフトし、最近は、国内旅行もあまり行かなくなりました。また、退職したら、各地に旅行に行こうかと思っています。

署長 マラソンも趣味でしたが、今年3月でレースからの引退を決定しました。初めてフルマラソンを走ったのは平成20(2008)年40代前半のとき。自己ベストは50代で出した3時間24分。これまでフルマラソンは50回以上走りました。しかし、今年3月の東京マラソンでは5時間01分の自己ベストを記録し、レースからは引退することにしました。今は、週末に徒歩などのスビードですが、好きな音楽を聴きながらジョギングは続けています。ただいま、新しい趣味を模索中です。

副署長 お持ちであれば、座右の銘について聞かせてください。

署長 座右の銘などといったものはありませんが、私自身が普段心掛けていることは、オンとオフを意識してメリハリをつけること、一日決算主義をモットーに日々を

◆フルマラソンに50回以上の出場経験

につけることができる税務職員になって、さらに、税務職員になった当初は存在も知らなかった税務の世界の様々な仕事に携わることができて、本当に良かったと思っています。素晴らしい職場の諸先輩・同僚に巡り会えて心から感謝しています。



右から種草署長、茂原広福副署長、木佐木広福副署長

ど国際課税ルールを中心とした様々な講義も担当しました。

署長 国税庁では今DXを推進していますが、これは国際的な潮流だと感じており、相手国からの研修ニーズも国際課税ルールに加えて、最近では、データ活用などDX関係の依頼も増えています。

委員 海外出張・勤務も数多くされたのですか？

署長 相互協議、国際会議、外国税務当局に対する研修講師などの業務で、海外出張も数多く経験しました。訪問した国は20か国弱(北米・欧州・アジア・オセアニア)です。研修講師としては、アジア諸国を中心に出張しました。

通常、海外出張する際は上司と一緒に複数で行くことが多いのですが、初めての海外出張がタイのバンコクで開催されたアジア税務長官会議専門家会合で、たった一人で、会議に出席しプレゼンなどしなければなら

らず、今思えばよく乗り切れたなと思います。

職歴の半分が国税庁勤務で一番ハードだったと記憶に残っているのは、ケイマンとの情報交換の仕組みを初めて作成した時です。情報交換というのは、租税条約等に基づき、納税者の取引などの税に関する情報を二国間の税務当局間で互いに提供する仕組みです。当時は、私を含め4名の職員しかおらず、しかも、情報交換以外の事務も担当しており、リソースが限られる中、ケイマンは、タックスヘイブンと一般には知られていないのではないかと思います。初めてタックスヘイブン国との情報交換を行うということで、新たな道徳作成・序内関係各課などの調整等、非常に苦労しました。現在は、善良な納税者が不公平感を抱かないよう、ケイマンに限らずタックスヘイブンと呼ばれる国・地域との情報交換も積極的に実施しています。

国際関係以外の仕事としては、国税監督官の仕事が印象に残っており、課税事実に対し不服がある納税者からの訴訟提起に対し、法務省・法務局の検事さんとともに裁判所に提出する準備書面の作成などを行いました。検事さんと一緒に仕事できたことは文書の作成・証拠の収集・提示方法など大変勉強になりました。

委員 出身はどこですか。子供の頃、どんな夢をお持ちでしたか？

署長 出身は大阪府です。今、夢洲で関西国際空港2025が開催中ですが、前回は大阪で開催された万博は平成2(1990)年に大阪市東の端にある鶴見区と守口市にまたがる鶴見緑地を会場に開催された通称万博「国際花と緑の博覧会」で、その近くの出身です。

子供の頃、当時持っていた将来の夢などというん、覚えていません(笑)。

委員 なぜ税務署の職員になられたのですか？

税務職員になった動機は、前任の高岡署長のように、確固たる動機があったかという点で正直なところ、当時は、民間企業に入ろうかと考えていて就職活動を行っていましたが、公務員試験も受けてみようかと思い、国税専門官のボスターを見て受験した結果、運よく合格したので、税務職員になったというの、正直なところ、結果として、法律・経済の最先端の現場に日々接しながら、様々な事業を営む経営者とも直接コミュニケーションをとることができ、また、財務諸表等から様々な情報を読み取ることができる力を身につけることが、嫌なことがあっても日々やりがいをもちたいという気持ちを持っていたので、自分自身の心身の健康、ワークライフバランスにつながっていると感じています。

なお、着任に当たっては、常にオンとオフ及び俯瞰的視野を意識しながら、効率的な事務運営を目指そう、そのために、職員同士が、年齢・役職・経験にかかわらず、お互いを尊重し、率直に意見交換ができ、チームワークを発揮できる明るく楽しく元気な職場環境を醸成しようとして上げました。

委員 四谷法人会とはどのような関係ができればと考えていますか？

署長 四谷法人会の皆様は、四谷の歴史と伝統を受け、四谷の街を愛していると強く感じます。本業でもリーダースhipを遺憾なく発揮し、事業を長く維持・発展させながら、法人会の活動にもサポートもって取り組んでいただいており、尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。

また、世代間の引継ぎもスムーズに行われていると感じており、例えば、私がかかわったことがある他の法人会では、青年部会のメンバーが青年会というよりも私よりも年齢の上の人がけつこう多かった印象がありますが、四谷では私よりも若い人が青年部会の中心メンバーとして活躍されているように感じます。

着任以降、機り返し申し上げてきたところですが、国税庁では、「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現に向けて、e-Tax及びe-Kyashureles納付の推進などDXを推進しています。四谷税務署も今年の5月9日に新宿区内の官公庁・関係民間団体とともに、「新宿区DX推進共同宣言」を行いました。

四谷税務署としてもe-Tax、e-Kyashureles納付、納税証明のオンライン請求などDXを強力に推進し、そのための周知・広報に取り組みたいと考えています。特に納付機会の多い源泉所得税のe-Kyashureles納付を強力に推進してまいりたいと考えています。こうした取組においては、四谷法人会との連携・協力は不可欠だと考えていますので、コミュニケーションを密に取りながら、連携・協調関係の維持・発展に努めていきたいと考えています。

委員 本日はどうもありがとうございました。

四谷税務署新旧幹部職員（法人担当）

は、転入者（敬称略）令和7年7月10日現在

役 職 名	新 幹 部	前 任 地 等	旧 幹 部	異 動 先 等		
署 長	種草 省夫	税務大学校研究部 国際支援室	室長	高岡 典彦	退職	
副 署 長（総 務）	石井 保	東京国税局機収 部国際税務官室	総務官	有馬 慶吾	財務省 理財局管理課	財政施設資 査官
副 署 長（法 人）	千葉真紀子	留任	2年目			
副 署 長（個 人）	松本 嘉英	葛飾署	総務課長	渡辺 幸平	沖縄不服審判所	審判官
特別国税調査官（法人）	樋口 宣伸	千葉西署	特別国税調査官 （法人）	齋藤 孝人	藤沢署	法人上席
総 務 課 長	田中 嗣人	山梨署	総務課長	高本 智野	転職	
特別国税調査官（法人）	松永 淳志	留任	3年目			
特別国税調査官（法人）	立花 哲	留任	2年目			
特別国税調査官（法人）	村上 広行	東京国税局税務 部税務相談室	相談官	小島 敏男	町田署	特別国税調査官 （法人）
特別国税調査官（法人）	青田 行雄	留任	3年目			
連絡調整官（法特）				松田 雄樹	東京国税局 調査第二部	主査
法 人 1 統 括 官	小山 良二	戸塚署	法人1統括官	玉木 邦和	中野署	特別国税調査官 （法人）
連絡調整官（法人）	小野塚寛之	立川署	連絡調整官（法人）	野村 和子	新宿署	法人10統括官
法 人 2 統 括 官	山野井ひとみ	四谷署	法人3統括官	本田 知幸	品川署	法人2統括官
法 人 3 統 括 官	和田 徳男	四谷署	法人4統括官	山野井ひとみ	四谷署	法人2統括官
法 人 4 統 括 官	三ツ沼高宏	四谷署	法人5統括官	和田 徳男	四谷署	法人3統括官
法 人 5 統 括 官	黒川 大輔	国税庁調査査察部 課長課	審理1係長	三ツ沼 高宏	四谷署	法人4統括官
法 人 6 統 括 官	田村 克己	四谷署	法人7統括官	龍 典子	退職	
法 人 7 統 括 官	重森 隆	四谷署	法人8統括官	田村 克己	四谷署	法人6統括官
法 人 8 統 括 官	富松 泰至	新宿署	個人2統括官	重森 隆	四谷署	法人7統括官
法 人 9 統 括 官	高柳 智宏	東京国税局査察第二部 法人課総務課	総務係長	松浦 明美	麻布署	法人6統括官
情報技術専門官（法人）	高岩 修	留任	2年目			
情報技術専門官（法人）	阿部 光江	神田署	情報技術専門官 （法人）	春田 繁昭	武蔵府中署	特別国税調査官 （法人）上席
審 理 専 門 官	栗林 直人	留任	2年目			
総 務 課 長 補 佐	木野 良典	足立署	総務課長補佐	菊池 由佳	目黒署	連絡調整官（法人）
審理担当（法人）	清水 利晃	東京国税局査察第一課 統括課税務調査官	実査官	石丸 敬太	目黒署	法人上席
審理担当（源泉）	星川 怜南	京橋署	法人3上席	佐藤 宏一	武蔵府中署	法人上席

四谷税務署 幹部職員のご紹介

本年度の定期異動で四谷税務署に配属になられた方をご紹介します。

役職名の前に■のある方は新任者です。（敬称略）



■ 署 長
たね ぐさ よし お
種 草 省 夫

前任地 税務大学校 研究部国際支援室 室長
出身地 大阪府



■ 副 署 長（法人担当）
ち ば ま き こ
千 葉 真 紀 子

前任地 留任（仙台局山形署）
出身地 青森県

四谷署2年目となりました。
四谷法人会の活動が更に充実したものとなるよう取り組んで参ります。
引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



■ 統括国税調査官
（法人課税第1部門）
こやま りょうし
小 山 良 二

前任署 戸塚署 法人1統括
出身地 福島県
この度の異動で戸塚税務署から転任してまいりました。
四谷署は初勤務になります。1年間
よろしく願いいたします。



統括国税調査官
（法人課税第2部門）
やまのい
山 野 井 ひ と み

前任署 留任（相模原署）
出身地 大阪府
四谷署2年目となりました
昨年に引き続き、どうぞよろしく
お願いいたします。



■ 上席国税調査官
（法人課税第1部門）
しみず としあき
清 水 利 晃

前任署 東京局 課税第一部
統括国税実査官
（資料情報担当）実査官
出身地 大阪府
この度の異動で東京国税局からまいりました。法人会の活動が充実した
ものとなるようご協力させていただきますので、
よろしく願いいたします。



■ 上席国税調査官
（法人課税第2部門）
ほしかわ れいすけ
星 川 怜 南

前任署 京橋署 法人3上席
出身地 神奈川県
この度の異動で京橋署からまいりました。源泉部を通じて、精一杯ご協力させていただきますので、
よろしく願いいたします。

四 谷 税 務 署 か ら の お 知 ら せ

源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナーを開設しました

源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナーとは、e-Taxソフト(WEB版)と同様の画面操作を用いて、徴収届計算書の作成・送信・納付手続を体験できるデモ操作ツールです。

キャッシュレス納付体験コーナー <https://www.e-tax.nta.go.jp/taken/gensencashless.htm>

e-Taxによるキャッシュレス納付の利便性をぜひご体験ください

※体験コーナーでは「利用者識別番号」「パスワード」の入力は不要です。ブラウザのままログインしてください。



事前準備不要

パソコンやスマートフォンがあれば今すぐお試しいたできます。
e-Taxの操作性を気軽に体験することができます。



何度でも操作可能

デモ操作ですので、ミスを気にすることなく、利用できます。
パソコンの操作が苦手な方でも、安心して利用できます。



操作確認用に

デモ操作の画面を確認しながら、実際のe-Taxの操作を行う使い方もできます。



源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナーはこちら

日々の大変な経理業務を

デジタル化で効率UP!

デジタル化の検討にあたって

IT導入補助金の活用

中小企業・小規模事業者がデジタル化に活用できる補助金です。

「IT導入補助金」申請はこちら

会計・請求業務のデジタル化にあたって

クラウド会計ソフトを利用すると

データで保存
ペーパーレスで
すっきり

ポイント1

オンライン化で
リモートワーク対応

ポイント2

データ連携や
自動仕訳で
生産性向上

ポイント3

電子帳簿保存制度
に対応できる

ポイント4

デジタルインボイスを利用すると

取引相手の
システムを問わず
自動処理が可能

ポイント1

会計ソフトと連携し
自動仕訳可能

ポイント2

請求データの
入力ミス防止

ポイント3

デジタルインボイスへの
対応ソフトはご確認
ください。

ポイント4

デジタルインボイスの
発行・受領は、システム
で自動化されています。

ポイント5

デジタルインボイスの
発行・受領は、システム
で自動化されています。

ポイント6

デジタルインボイスの
発行・受領は、システム
で自動化されています。

ポイント7

デジタルインボイスの
発行・受領は、システム
で自動化されています。

ポイント8

デジタルインボイスの
発行・受領は、システム
で自動化されています。

ポイント9

デジタルインボイスの
発行・受領は、システム
で自動化されています。

ポイント10

デジタルインボイスの
発行・受領は、システム
で自動化されています。

e-Tax申告法人の 4社に3社がALL e-Taxです!!

国税庁では、納税者や税理士の皆様の利便性向上と税務行政の効率化のため、
添付書類（財務諸表や勘定科目内訳明細書等）を含めたe-Tax（ALL e-Tax）を
推進しています。



ALL e-Taxのメリット

業務の効率化

発送の手間や税務署へ
行く手間を解消

ペーパーレス化

書類の保管場所が不要
遠隔地でも書類が確認可能

コスト削減

郵送料、印刷代、交通費
の削減



法人税の電子申告のQ&A

01

添付書類を含めたe-Tax（ALL e-Tax）
の利用はどのくらい進んでいますか？

e-Taxで申告した法人の **4社に3社**
が、ALL e-Taxです。

02

e-Taxで送信できる添付書類の
データ形式は決まっていますか？

法令により、提出する書類ごとにデータ
形式が定められています。

◇財務諸表 XBRL形式・CSV形式
◇勘定科目内訳明細書
XML形式・CSV形式

※ 上記の添付書類はPDF形式による提出
が認められていません。

03

CSV形式で財務諸表を作成し、
e-Taxで送信する方法を教えてください。

「国税庁動画チャンネル」
に動画を掲載しています。

※ 財務諸表データの提出方法に
ついては裏面をご覧ください。

YouTube

「国税庁動画チャンネル」



国税庁 法人番号7000012050002

令和6年10月